

令和 7 年度大阪大学大学院人間科学研究科
博士前期期課程＜一般＞入学試験（冬期）出題の意図

試験 科目	専門科目 B (教育学系)	講座		研究 分野	
----------	----------------------	----	--	----------	--

（ 2 枚中の 1 枚目）

（教育心理学）

問題 I

いずれも教育心理学領域における基本的な用語であり、理解度を確認するとともに、説明する際の文章力や表現力等を把握するための問いである。

問題 II

学校の授業時間を活用して実施される心理教育プログラムの効果の検証を行う場合には、測定値の独立性や要求特性の問題が生じうるとされている。本問では、これらの問題点や留意点などを理解できているかを問うものである。

（臨床心理学）

問題 I

- 1) 心理療法の研究方法についての理解を問う。
- 2) EAP の設置場所によって、スムーズに行われる支援のあり方や、相談者に対する留意点について包括的に理解できているかどうかを問う。
- 3) カウンセリングの基礎的な知識を問う。

問題 II

- 1) 代表的な心理療法についての基礎的な理解を問う。
- 2) 代表的な心理検査法についての基礎的な理解を問う。
- 3) 臨床心理学における重要な概念の理解について問う。
- 4) 検査に関する知識を問う。

（教育社会学）

問題 I

教育・社会事象に関する記述の真偽について、データに基づいて判断する方法への理解を問う問題。メディアによる報道や文献の記述を鵜呑みにするのではなく、データに基づいて客観的に判断する方法への理解や、それについて実際に説明する能力があるかを確認することを目的としている。

問題 II

教育社会学と調査研究に関わる基本的な語句の意味を理解し、簡潔に説明する力の有無を評価することを意図して出題した。

令和 7 年度大阪大学大学院人間科学研究科
博士前期課程＜一般＞入学試験（冬期）出題の意図

試験 科目	専門科目 B (教育学系)	講座		研究 分野	
----------	----------------------	----	--	----------	--

(2 枚中の 2 枚目)

(教育制度学)

問題 I

20 世紀における教育学を代表する古典書の理解と知識を問うことを目的としている。

(教育文化学)

問題 I

近年、教育格差が社会問題として取り上げられているが、教育格差を是正するためには、進学率を上げればよいという単純な話ではない。進学率が上昇すると学歴はインフレを起こし、実質的価値が低下する。教育格差の問題は、教育システムの内部にとどまらず、労働市場との関係も視野に入れなければならないということでもある。教育をマクロな視点から捉えることができるかを確認するために出題した。

問題 II

教育学・教育社会学の重要概念や方法論に関わる基礎的知識の理解度をみるために出題した。